

# Surgery First Summit 2018

シンポジウム (英語講演 日本語同時通訳)

## 『手術先行による新しい 外科的矯正の世界基準を求めて』

日時：2018年8月27(月)・28日(火)

会場：仙台国際ホテル (仙台市)

プレシンポジウム(日本語講演)

## 『日本におけるサージェリー・ファースト法 の現状とプロモーション』

日時：2018年8月26日(日)

会場：トラストシティ カンファレンス・仙台

問い合わせ

E-mail ([sf-summit@jcom.zaq.ne.jp](mailto:sf-summit@jcom.zaq.ne.jp))

詳細 & 申込

<http://sfs2018.com>

主催：Sendai Surgery First Society  
後援：日本顎顔面包括歯科研究会

## シンポジウム 開催趣旨

サージェリー・ファースト法 (SF法) は、従来法の二大欠点である「術前矯正中に顔貌や咬合が悪化すること」と「治療期間が長いこと」を解消するために考案された顎変形症に対する画期的な外科的矯正治療法です。SF法により術前矯正を完全省略することが可能になったことから、治療中のクライアントのQOL低下を最小限にした外科的矯正を実現することができるようになりました。

2009年に我々のチームが世界に先駆けて発表した論文「Nagasaki H, Sugawara J, Kawamura H, Nanda R. "Surgery first" for skeletal Class III correction using the skeletal anchorage system. J Clin Orthod. 2009;43:97-105.」を皮切りに、世界中で様々な工夫を凝らしたSF法が実践され、多くの論文が発表されるようになりました。最近では、世界中の矯正歯科学会や顎顔面外科学会においてSF法がトピックとして取り上げられるようになり、矯正歯科医や外科医の関心事になっています。ただし、SF法の導入によって、術前矯正が省略され、治療期間が短縮されたとしても、従来法に比して治療の質が低く、術後安定性が劣っていたのではまったく意味がありません。SF法の究極の目的は多くの点において従来法を凌駕し、クライアントにSF法の利点を大いに享受していただくことです。

我々のチームの初の論文発表から10周年にあたる2018年、SF法を「より短期間で、より安全に、より確実に」行うことをモットーに、世界中のエキスパートを結集して、最新情報の交換と治療法のさらなる向上を目的としたシンポジウムを開催することになりました。本シンポジウムが、SF法の今後の発展と新たな歴史の創出に貢献し、かつSF法に関心を抱く先生方にとって有意義な学術集会になることを確信しております。

Surgery First Summit 主催者代表：菅原準二 (仙台青葉クリニック)

## プレシンポジウム 開催趣旨

私達は、2009年に「Skeletal Anchorage Systemを利用したSurgery First (SF) 法」と題した論文を報告して以来、術前矯正を省略して手術を先行するという新たな顎変形症治療シーケンスに力を注いで参りました。SF法では、顔貌が早期に改善し、歯の移動が効率的で、治療期間がきわめて短いなど、従来法に比べて患者利益に直結する利点が多く認められています。最近では、多くの国際的な矯正歯科学会や顎顔面外科学会においてこのSF法がトピックとして取り上げられるようになり、世界中の矯正歯科医や外科医の関心事になっています。しかし、日本においては、SF法は健康保険適用上の制約があることや治療チームに専門的経験や高度な技術が要求されることなどの理由から、まだ普及にはほど遠いという現状です。

そこで、私達の顎変形症治療チーム主任である菅原準二が大会長となって、2018年8月27・28日に仙台市において、世界中のエキスパートを招集してシンポジウム「Surgery First Summit」を開催することになりました。そして、シンポジウム前日の8月26日には「日本におけるSF法の現状とプロモーション」について語り合うために日本人を対象にしたプレシンポジウムを企画しました。講演者はSF法に関わってこられた新旧気鋭の外科医ならびに矯正歯科医の10名です。日本の皆様には是非とも本プレシンポジウムに参加いただき、顎変形症治療における歴史を踏まえた新たな動向に対してご意見をいただければと存じます。何卒ご参加賜りますようお願い申し上げます。

プレシンポジウム代表：長坂浩 (仙台青葉クリニック・歯科口腔外科)

## シンポジウム講演者 (講演順)



DR. RAVI NANDA (USA)  
MODERATOR

Professor and Head of the Department of Craniofacial Sciences and Chair of division of Orthodontics, University of Connecticut.



DR. HYEON-SHIK HWANG (KOREA)

Professor Emeritus of the Department of Orthodontics at Chonnam National University School of Dentistry, Gwangju, Korea.



DR. JUNJI SUGAWARA (JAPAN)

Director at the Department of IDT, Sendai Aoba Clinic, Sendai, Japan



DR. MITHRAN GOONEWARDENE (AUSTRALIA)

Head of Orthodontics and Graduate Progrirector at The University of Western Australia



DR. CARLOS VILLEGAS (COLOMBIA)

Director General - Â CirujanoÂ Maxilofacial - Ortononcista.



DR. FEDERICO HERNÁNDEZ- ALFARO (SPAIN)

Professor and Chairman of Oral and Maxillofacial Surgery at Universitat Internacional de Catalunya (Barcelona, Spain).



DR. CHAI KIAT CHNG (SINGAPORE)

Head and Senior Consultant, Dental Service, KK Women's and Children's Hospital.



DR. FLAVIO URIBE (USA)

Full-time Associate Professor and Program Director in the Division of Orthodontics at the University of Connecticut Health Center.



DR. JORGE FABER (BRAZIL)

Professor of Evidence Based Dentistry and Orthodontics at the Dental Post-Graduate Program of the University of Brasilia.





DR. ERIC LIOU (TAIWAN)  
Associate professor and the chairman of the Faculty of Dentistry, Chang Gung Memorial Hospital & Chang Gung University, Taipei, Taiwan.



菅原 康志 先生  
リラ・クラニオフェイシャル・クリニック東京院長  
「Soft-tissue First 手術計画によるSurgery First アプローチ」



渡辺 頼勝 先生  
東京警察病院形成外科・美容外科医長  
「顔面の整容・機能を第一に考えたFace-Firstコンセプトに基づくSurgery-First Orthognathic Surgery」



高橋 哲 先生 (モデレーター)  
東北大学大学院歯学研究科 顎顔面・口腔外科学分野教授 東北大学病院統括副病院長  
「Surgery Firstを科学する -顎矯正手術に伴う骨代謝活性の亢進-」

## プレシンポジウム講演者 (講演順)



川村 仁 先生  
松本歯科大学特任教授・松本歯科大学病院歯科病院長  
「口腔顎顔面機能障害を示す顎変形症」



長坂 浩 先生  
仙台青葉クリニック 副院長・歯科口腔外科主任  
「Skeletal Anchorage Systemを組み入れたSurgery First法の実際」



山田 聡 先生  
仙台青葉クリニック・矯正歯科主任  
「矯正医から見たSendai Surgery First法の特徴」



斎宮 康寛 先生  
医療法人社団スマイルクリエート院長  
「Surgery First、舌側矯正治療、デジタルテクノロジーとの融合」



斎藤 力 先生  
新潟大学名誉教授・東京歯科大学客員教授  
「サージェリー・ファーストにおける顎矯正手術の要点」



尾島 賢治 先生  
医療法人スマイルイノベーション矯正歯科理事長  
「サージェリーファースト+アライナー矯正歯科治療」



鶴田 仁史 先生  
広島中央矯正歯科院長  
「早急に顎矯正手術を希望する顎変形症患者に応えるための術前矯正治療を短縮・省略する取り組み」

## 参加費

プレシンポジウムのみの参加	
2018年 5月31日 まで	50,000 円
2018年 6月 1日 以降	50,000 円
シンポジウムのみの参加	
2018年 5月31日 まで	90,000 円
2018年 6月 1日 以降	110,000 円
シンポジウムとプレシンポジウムの両方 参加	
2018年 5月31日 まで	100,000 円
2018年 6月 1日 以降	120,000 円

- \* プレシンポジウム参加費には昼食・コーヒー代含む。
- \* シンポジウム参加費にはGala Dinner, 昼食・コーヒー代含む。
- \* 支払い方法: 銀行振込 又はPaypal (クレジットカード)

## Gala Dinner

日時	2018年8月27日 (月) 19:30~22:00
会場	ウェスティンホテル仙台 2階 グランドボールルーム

## シンポジウム プログラム

### 8月27日 (月)

08:30-09:00	Registration
09:00-09:30	Opening (Dr. Ravi Nanda)
09:30-11:00	Lecture 1 (Dr. Hyeon-Shik Hwang)
11:00-12:30	Lecture 2 (Dr. Junji Sugawara)
12:30-14:00	Lunch
14:00-15:30	Lecture 3 (Dr. M. Goonewardene)
15:30-17:00	Lecture 4 (Dr. Carlos Villegas)
17:00-18:30	Lecture 5 (Dr. Federico-Hernandez-Alfaro)

### 8月28日 (火)

09:00-10:30	Lecture 6 (Dr. Chai Kiat Chng)
10:30-12:00	Lecture 7 (Dr. Flavio Uribe)
12:00-13:30	Lunch
13:30-15:00	Lecture 8 (Dr. Jorge Faber)
15:00-16:30	Lecture 9 (Dr. Eric Liou)
16:30-16:50	Break
16:50-17:30	Discussion (Dr. Ravi Nanda)

## プレシンポジウム プログラム

### 8月26日 (日) 午前の部

09:00-09:30	受付
09:30-09:35	開会の辞
09:35-10:05	講演1 川村 仁 先生
10:05-11:05	講演2 長坂 浩 先生 山田 聡 先生
11:05-11:30	休憩
11:30-12:15	講演3 斎宮 康寛 先生 今村 栄作 先生
12:15-13:15	講演4 斎藤 力 先生 尾島 賢治 先生

### 8月26日 (日) 午後の部

13:15-14:30	昼食
14:30-15:15	講演5 鶴田 仁史 先生
15:15-16:00	講演6 菅原 康志 先生
16:00-16:25	休憩
16:25-17:10	講演7 渡辺 頼勝 先生
17:10-17:55	講演8 高橋 哲 先生
18:00-18:30	討論